

令和5年度 福岡県ノーリフティングケア普及促進事業  
実践報告

ノーリフティングケアの実施

～ゼロからの挑戦～



社会福祉法人 なのみ一校会  
特別養護老人ホーム 垣生の里

研修参加前の垣生の里の状況

- ・福祉用具が最低限しかなく 数が不足している。  
(フレックスボード・スライディングボード・リフト)
- ・一部の入居者のみに使用するルールがあるが徹底できていない。
- ・**こっちの方が早いから...**と抱え上げ業務が中心で慢性的な腰痛者が多い。



系列施設である二丈仙寿園がノーリフティングケアを行っており、当施設でも職員の腰痛予防や入居者の安心のためにノーリフティングケアを取り組み始めたところだった。



ノーリフティングケア促進事業の募集があることを知り、第四期の研修参加へと切り替えになった。

一度目の研修を終えて



「しかし研修内容が複雑すぎてよくわからないままスタート...」

話についていけない...  
いきなり計画立てるなんて難しい...  
何から手を付ければ...  
パソコン作業ができない...

まずは周知することから始めてください。



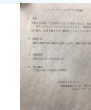
一人じゃ絶対無理。  
協力者が必要



基礎作りとしてチームを発足



- ・実施の発令
- ・チーム結成
- ・目的の共有
- ・役割決め
- ・令和5年度の計画スケジュール周知



チーム結成！



ノーリフティングケアの目的と必要性の周知



研修参加予定者氏名及び役職

	役職	氏名
①統括マネージャー <管理者・現場管理者など> 腰痛予防対策を推進していく組織の統括マネジメントリーダーとして活動します。推進チームのリーダーとしてすべての計画の責任、進捗状況・結果等全体を把握して進め方を検討します。	管理者	村岡 広行
②職員の健康管理担当 <看護師など> 腰痛予防の計画立案や実施結果の分析、職員への面談・評価などを行い、対応策を検討します。	看護師	杉山 律子
③教育担当(教育企画担当・技術教育担当) <介護リーダー・PT・OT> 教育計画を立案し実施・推進します。	介護リーダー 介護リーダー	入江 いづみ 鳥袋 葉那美
④個別アセスメント・プランニング担当<介護支援専門員・介護リーダー・PT・OTなど> アセスメント・プランニングを実施します。	介護リーダー 介護リーダー	西浦 恵子 中間 あゆみ
⑤福祉用具導入計画・管理担当<組織での導入と備品管理ができる人材・メンテナンスなど用具の使用管理の人材> 福祉用具の導入・購入計画の立案、福祉用具の管理を実施します。	介護リーダー 介護リーダー	清原 誠 中村 岩夫

## リスクマネジメントの取り組み



リスクの抽出の環境を整える為の研修を行い「気づきボード」を作成。実現可能な意見を抽出し、対応と伝達を行った。



…が

最初は様々な意見が上がっていたが、徐々に意見が減少してきてPDCAの“D”の段階で躓いている…



ラウンドチェック表はできているので今後は活用までに繋げていきたい



リスクマネジメントとは…



ノーリフティング推進委員会（リスク委員会）

85.9.28

各フロアよりリスク（腰痛予防）に対する以下の要望がありました。ご検討、よろしくお願致します。

① 便所の床清掃用で膝んで掃除をしている。デッキブラシが欲しい(腰痛予防)

② デッキブラシ購入希望

③ トイレ清掃時のモップがない為、奥まで清掃ができない(滑りやすい)

④ モップ購入希望

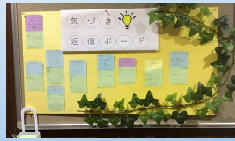
⑤ ベットがずれてコンセントにあたり、壊れたり動いたりする。

⑥ 曲がるタブ購入希望

⑦ 本館1フロア使用時、職員の手と入浴者の靴等の事故リスクあり。

⑧ 高り下げタイプの履面で、履いて不安定、履高の異りに手すりもない状態。

※本館併用に変更できるリフトの購入希望。



気づきボード

## 福祉用具の見直しと評価



- 福祉用具の見直しと配置表を作成しPTとともに適した場所や人のカンファを行い、購入するものを選別した。稟議書作成済みで購入待ちの段階。
- 稟議書では、現在使用している多くの車椅子が標準型であるため、モジュール車椅子 リクライニングを優先した。

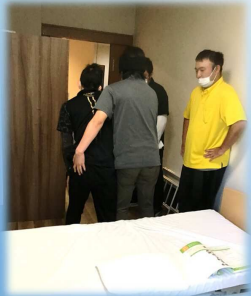
福祉用具設置状況

	フレックスボード	スタイディングボード	リクライニング車椅子	ディルトリクライニング車椅子	モジュール型車椅子	自走式車椅子	介助車椅子	リフト	昇降型歩行器	その他の歩行器	シヤパー	Pトイレ
本館1階 ショートステイ	使用中								1	2		
	未使用							1				
本館2階 2ユニット	使用中	1	2	3	2	1	8				1	
	未使用				0		2					
本館3階 2ユニット	使用中	1	1	3	1		13		1	1	4	1
	未使用				0	1	1					
新館1階 2ユニット	使用中	1	2	1	2	3	7	5	1	1	6	4
	未使用				0	1						
新館2階 1ユニット	使用中	0	1	0	1	1	7	1			2	
	未使用				0	2	1					

## 実技教育



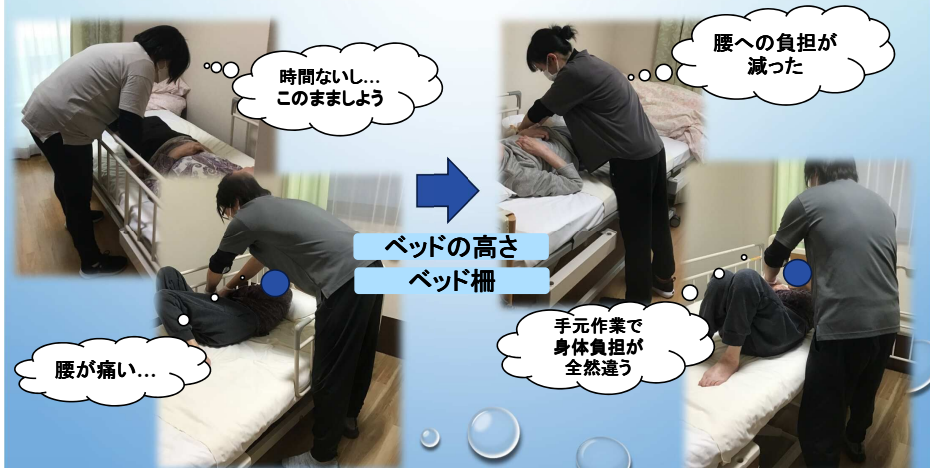
・意欲的に実技指導を受ける職員が多く、楽しい雰囲気での研修が進行できた。**この強みを活かして実技教育研修を継続し、定着させていく。**



## 研修導入前のオムツ交換

## 研修導入後のオムツ交換

「多くの職員が腰痛を日常的に意識するようになった」



## 研修導入前の移乗介助

## 研修導入後の移乗介助

「一部の方ではあるが習慣化してきている」



## 職員の意識・行動の変化

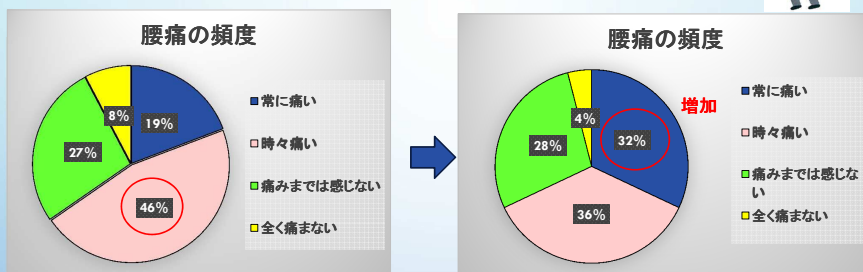
- ・委員会メンバー内でノーリフティングに関する話題が多くなった
- ・福祉用具を使用し始めると面倒さが無くなり楽にできることがわかった
- ・入居者の対応をPTへ相談する機会が増えた
- ・腰痛予防やリスク回避を考えるようになった



機械浴の際、リクライニングからの抱え上げなくなり、ストレッチャー使用が全ユニットに定着した



## 腰痛調査の比較



- ・「常に痛い」割合が13%増加 / 「常に」「時々痛い」65%→68%
- ・欠員の多い時期でマンパワー不足で無理な介助方法が増えた。
  - ・10月 11月の平均要介護度4.1 12月の平均4.0
  - ・介助量の多い新規入居者やショートステイ利用者。
- ・福祉用具整備計画が遅れている。(稟議書作成し購入待ち)
- ・福祉用具以外の腰痛症対策が始業前体操以外実行できていない。

## ～今後の目標～

- ・全職員が腰痛予防への意識を更に高められ、ノーリフティングケアを定着させる。
- ・身体の使い方や体操の取り組みで、今できる腰痛症対策を推進させる。
- ・不足分の福祉用具の購入を早急に行い、抱え上げのない介護現場を実現する。
- ・研修を充実させ現場で福祉用具が活用されるような体制づくり。